

2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 テモナ株式会社 上場取引所
コード番号 3985 URL <https://temona.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐川 隼人
問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO(氏名) 波多野 完治 (TEL) 03-6635-6452
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | ％ | 百万円 | ％ | 百万円 | ％ | 百万円 | ％ |
| 2025年9月期第3四半期 | 1,379 | 0.7 | 132 | — | 130 | — | 87 | — |
| 2024年9月期第3四半期 | 1,370 | △25.0 | △62 | — | △62 | — | △49 | — |

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 88百万円(—%) 2024年9月期第3四半期 △49百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年9月期第3四半期 | 8.18 | 8.17 |
| 2024年9月期第3四半期 | △4.62 | — |

(注) 2024年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | ％ |
| 2025年9月期第3四半期 | 1,782 | 780 | 42.3 |
| 2024年9月期 | 1,541 | 700 | 43.1 |

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 753百万円 2024年9月期 664百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年9月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | ％ | 百万円 | ％ | 百万円 | ％ | 百万円 | ％ | 円 銭 |
| 通期 | 1,867 | 2.3 | 146 | — | 145 | — | 86 | — | 8.08 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) サブスクソリューションズ株式会社、除外 1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年9月期3Q | 11,425,592株 | 2024年9月期 | 11,425,592株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年9月期3Q | 739,217株 | 2024年9月期 | 742,917株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2025年9月期3Q | 10,683,598株 | 2024年9月期3Q | 10,681,210株 |

(注) 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2024年9月期742,100株、2025年9月期3Q738,400株)を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料(ファクトシート)は2025年8月8日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (会計上の見積りの変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するもとの、各種政策の効果もあり緩やかな回復が期待されているものの、不安定な国際情勢に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安、インフレなどにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和5年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2023年のBtoC-EC市場規模が前年比9.23%増の24.8兆円、BtoB-EC市場規模が前年比10.7%増の465.2兆円となりました。また、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※1）も、BtoC-ECで9.38%、BtoB-ECで40.0%と増加傾向が続いており、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。

このような経済環境のもと、当社グループでは、経済環境が不透明な中でも安定した収益を確保しやすいサブスクリプションビジネスを総合的に支援し、顧客の事業成長に貢献し続けることが成長の鍵だと考え、顧客の事業成長を支援する既存サービスの機能強化と販売を推し進めるとともに、コスト構造の見直しや生産性の改善にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、「サブスクストア」及び「たまごレポート」のサービス利用アカウント総数の減少、「サブスクアット」に付随するWebページ制作サービスの提供先減少要因等がありましたが、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益や、システムエンジニアリングサービスの提供先の増加といった増収要因により、売上高は1,379,894千円（前年同期比0.7%増）となりました。

売上原価は、内製化促進による外注費削減等により、626,182千円（前年同期比5.6%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務効率化や人員の適正再配置等により人件費・採用費が減少したこと等から、621,682千円（前年同期比19.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業利益132,030千円（前年同期は営業損失62,099千円）、経常利益130,083千円（前年同期は経常損失62,772千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益87,344千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失49,321千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(a) EC支援事業

EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。

EC支援事業におけるサービス別の業績を収益区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

| サービスの名称 | 収益区分 | 前第3四半期 連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日) | | 当第3四半期 連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日) | | 増減額 | 増減率 (%) | |
|------------|---------|--|------------|--|------------|---------|------------|-------|
| | | 金額 | 構成比 (%) | 金額 | 構成比 (%) | | | |
| a | サブスクストア | リカーリング収益 | 247,442 | 22.1 | 219,434 | 20.5 | △28,007 | △11.3 |
| | | 受託開発収益 | 19,372 | 1.7 | 106,071 | 9.9 | 86,699 | 447.5 |
| | | その他収益 | 73,010 | 6.5 | 64,766 | 6.0 | △8,243 | △11.3 |
| | たまごリポート | リカーリング収益 | 248,458 | 22.2 | 218,125 | 20.4 | △30,333 | △12.2 |
| | | 受託開発収益 | — | — | 9,390 | 0.9 | 9,390 | — |
| | | その他収益 | 25,959 | 2.3 | 21,300 | 2.0 | △4,658 | △17.9 |
| 小計 | | 614,242 | 54.8 | 639,088 | 59.7 | 24,845 | 4.0 | |
| b | 決済手数料 | GMV連動収益 | 321,011 | 28.6 | 321,541 | 30.0 | 530 | 0.2 |
| c | その他 | リカーリング収益 | 71,666 | 6.4 | 69,703 | 6.5 | △1,962 | △2.7 |
| | | 受託開発収益 | 88,736 | 7.9 | 11,831 | 1.1 | △76,905 | △86.7 |
| | | その他収益 | 25,603 | 2.3 | 28,617 | 2.7 | 3,013 | 11.8 |
| | 小計 | | 186,006 | 16.6 | 110,152 | 10.3 | △75,853 | △40.8 |
| 合計 (a+b+c) | | 1,121,260 | 100.0 | 1,070,783 | 100.0 | △50,477 | △4.5 | |

- a. 「サブスクストア」のサービス利用アカウント数は355件（前年同期比15.7%減）、「たまごリポート」のサービス利用アカウント数は375件（前年同期比10.7%減）となり、これらのサービス利用アカウント総数は730件（前年同期比13.2%減）となりました。

「サブスクストア」及び「たまごリポート」のアカウント数の減少からリカーリング収益（※2）は減少したものの、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益（※3）が伸張し、売上高は639,088千円（前年同期比4.0%増）となりました。

- b. 当社グループの提供するサービスに係る流通総額は、「サブスクストア」及び「たまごリポート」のサービス利用アカウント総数が減少したものの、アカウントあたりの流通総額が向上したことで減少幅が抑制され、927億円（前年同期比0.5%減）となり、GMV連動収益（※4）は、321,541千円（前年同期比0.2%増）となりました。

- c. リアル店舗向けのサービスである「サブスクアット」のアカウント数（契約法人数）が169件（前年同期比18.8%減）、BtoB事業者向けのサービスである「サブスクストアB2B」のアカウント数が19件（前年同期比17.4%減）と減少しましたが、「ECield」をはじめとするSaaS製品等のその他のアカウント数が47件（前年同期比14.6%増）と増加したことなどから、リカーリング収益は69,703千円（前年同期比2.7%減）となりました。また、「サブスクアット」に付随するWebページ制作サービスが減少したことから、受託開発収益が11,831千円（前年同期比86.7%減）となりました。その結果、その他サービスの売上高は、110,152千円（前年同期比40.8%減）となりました。

以上の結果、EC支援事業の売上高は1,070,783千円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は60,326千円（前年同期はセグメント損失35,295千円）となりました。

(b) エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、株式会社サクルにおいて、システム開発の受託サービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

システムエンジニアリングサービスの提供先増加により売上高は309,111千円（前年同期比24.2%増）となりました。また、セグメント利益は23,601千円（前年同期はセグメント損失21,040千円）となりました。

- ※1 EC化率 : 全ての商取引市場規模に対するEC市場規模の割合。
- ※2 リカーリング収益 : 利用した月に応じて定額で課金するサービスの収益。
- ※3 受託開発収益 : 当社のシステムのカスタマイズなど、受託開発による収益。
- ※4 GMV連動収益 : 顧客の流通総額に連動して発生する収益。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べて241,096千円増加し、1,782,653千円となりました。この主な要因は、借入の実行などにより現金及び預金が237,374千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて160,762千円増加し、1,001,753千円となりました。この主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が74,698千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて80,333千円増加し、780,900千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が87,344千円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました「業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 910,419 | 1,147,793 |
| 売掛金及び契約資産 | 199,289 | 153,510 |
| その他 | 69,492 | 99,287 |
| 貸倒引当金 | △1,986 | △2,100 |
| 流動資産合計 | 1,177,213 | 1,398,491 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 27,383 | 32,895 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 5,825 | 3,277 |
| のれん | 201,078 | 178,092 |
| 無形固定資産合計 | 206,904 | 181,369 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,250 | 2,250 |
| 繰延税金資産 | 50,768 | 49,898 |
| その他 | 77,267 | 119,473 |
| 貸倒引当金 | △229 | △1,725 |
| 投資その他の資産合計 | 130,056 | 169,896 |
| 固定資産合計 | 364,344 | 384,162 |
| 資産合計 | 1,541,557 | 1,782,653 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 47,183 | 81,188 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 129,904 | 125,310 |
| 未払法人税等 | 5,946 | 56,474 |
| その他 | 156,742 | 161,449 |
| 流動負債合計 | 539,775 | 624,422 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 295,019 | 374,311 |
| 株式給付引当金 | 6,195 | 2,563 |
| その他 | — | 456 |
| 固定負債合計 | 301,214 | 377,330 |
| 負債合計 | 840,990 | 1,001,753 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 386,421 | 386,421 |
| 資本剰余金 | 377,973 | 377,973 |
| 利益剰余金 | 481,656 | 569,000 |
| 自己株式 | △582,035 | △579,401 |
| 株主資本合計 | 664,016 | 753,995 |
| 新株予約権 | 34,438 | 23,903 |
| 非支配株主持分 | 2,112 | 3,002 |
| 純資産合計 | 700,567 | 780,900 |
| 負債純資産合計 | 1,541,557 | 1,782,653 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 1,370,080 | 1,379,894 |
| 売上原価 | 663,455 | 626,182 |
| 売上総利益 | 706,624 | 753,712 |
| 販売費及び一般管理費 | 768,724 | 621,682 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △62,099 | 132,030 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 338 | 225 |
| 受取手数料 | 5 | — |
| 業務受託料 | 480 | 366 |
| 助成金収入 | 1,051 | — |
| 物品売却益 | 359 | 714 |
| 消費税等簡易課税差額収入 | — | 2,495 |
| その他 | 210 | 640 |
| 営業外収益合計 | 2,444 | 4,442 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,117 | 5,816 |
| 創立費 | — | 571 |
| 営業外費用合計 | 3,117 | 6,388 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △62,772 | 130,083 |
| 特別利益 | | |
| 資産除去債務戻入益 | — | 980 |
| 新株予約権戻入益 | 5,220 | 7,422 |
| 投資有価証券売却益 | — | 4,523 |
| 特別利益合計 | 5,220 | 12,926 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | △57,552 | 143,010 |
| 法人税等 | △8,343 | 54,776 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △49,208 | 88,233 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 112 | 889 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △49,321 | 87,344 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △49,208 | 88,233 |
| 四半期包括利益 | △49,208 | 88,233 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △49,321 | 87,344 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 112 | 889 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合、法定実効税率を用いて当該税金費用を計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社は、第1四半期連結会計期間において福岡事業所の移転を決定したため、移転に伴い利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、移転前の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務に係る資産除去債務について、新たな情報の入手に伴い、見積り額の変更を行いました。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は8,206千円減少し、税金等調整前四半期純利益が7,226千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|----------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | EC支援事業 | エンジニアリング 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,121,260 | 248,820 | 1,370,080 | — | 1,370,080 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 58,694 | 58,694 | △58,694 | — |
| 計 | 1,121,260 | 307,514 | 1,428,775 | △58,694 | 1,370,080 |
| セグメント損失(△) | △35,295 | △21,040 | △56,335 | △5,763 | △62,099 |

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△5,763千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|----------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | EC支援事業 | エンジニアリング 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,070,783 | 309,111 | 1,379,894 | — | 1,379,894 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 22,800 | 164,809 | 187,609 | △187,609 | — |
| 計 | 1,093,583 | 473,920 | 1,567,503 | △187,609 | 1,379,894 |
| セグメント利益 | 60,326 | 23,601 | 83,928 | 48,101 | 132,030 |

(注) 1. セグメント利益の調整額48,101千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 109,155千円 | 15,333千円 |
| のれんの償却額 | 22,986千円 | 22,986千円 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。